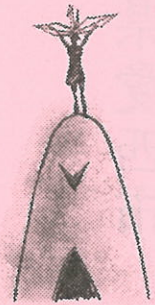


二十歳おめでとうございます

ロシアのウクライナ侵略に断固反対します！

ロシアのウクライナ侵攻で多くの被災者や難民がうまれました。平和を願う国民の一人として絶対に許すことはできません。プーチンは核の先制使用をチラつかせ世界を脅迫しています。これに対して「我が国も核兵器を持つべきだ」「敵基地攻撃力を持つべきだ」と軍事費の2倍化が現実のものになりました。軍事対軍事では平和は守れません。



崩れ去った「核抑止力論」

プーチンのような「核固執論者」はこれから出てきます。やはり国連で決議された「核兵器禁止条約」を実効あるものにするのだと考えます。昨年6月に核兵器禁止条約の第一回締約国会議が、8月には第十回核不拡散条約（NPT）再検討会議が開かれました。日本政府もこの条約の調印・批准が望まれるところです。核廃絶の声をもっと大きくし、被爆国日本の政府に核兵器禁止条約を支持し、参加させましょう。

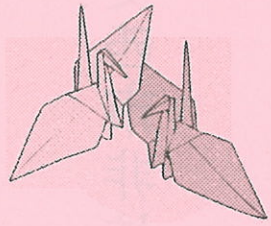
愛西市でも意見書の採択を！

日本政府に『核兵器禁止条約』への調印・批准・参加を求める意見書決議は多くの自治体で採択されています。『非核・平和都市宣言』をしている愛西市でも『核兵器廃絶のための意見書』を採択するよう声を上げましょう。皆さんの声や署名が市政を動かします。

新型コロナウイルス・温暖化・ジェンダー待ったなし

新型コロナウイルスは第8波となり多くの感染者が発生しています。ワクチン接種で市民が亡くなる事故が起きています。国民の命を守る対応が求められます。同時に地球環境問題、ジェンダー問題も待ったなしです。

主権者はあなたです。一緒に行動しましょう



主権者は私たち国民一人一人です。二十歳になられたあなたに心から訴えます。国内外で高校生・大学生が先頭に立って元気よく取り組んでいます。いま主権者が「政治を変えたい」と声をあげれば、政治は確実に代わります。「今、何が必要か」「どう行動するか」。平和憲法を守り発展させ、戦争のない、住みやすい国に変えていきましょう。

愛西市非核・平和都市宣言

世界の恒久平和は人類共通の念願であり、核兵器の廃絶は生きとし生けるものの死活にかかわる最も重要かつ緊急の課題となっている。

我が国は、世界最初で唯一の被爆国であり、核兵器の恐ろしさや被爆者の今なお続く苦しみを声を大にして全世界の人々に強く訴え、二度とあの惨禍を繰り返させてはならない。

愛西市は、非核三原則を遵守し、核兵器の廃絶と人類の恒久平和のために努力することを決意し、ここに議会の議決をもって「非核・平和都市」宣言をする。

平成十七年九月九日

愛知県愛西市